

みずほCustomer Desk Report 2017/09/29 号 (As of 2017/09/28)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.96 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.88	1.1751	132.61	0.9718	1.3398	0.7850
SYD-NY High	113.21	1.1804	132.88	0.9757	1.3456	0.7860
SYD-NY Low	112.26	1.1722	132.32	0.9699	1.3344	0.7799
NY 5:00 PM	112.35	1.1786	132.39	0.9700	1.3439	0.7858
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.88/10.255		Δ25RR	1.615	Yen Call Over	

NY DOW	22,381.20	40.49	債券市場	日本2年債	-0.1080	1.0bp
NASDAQ	6,453.45	0.19		日本10年債	0.0740	1.5bp
S&P	2,510.06	3.02		米国2年債	1.4508	▲2.0bp
日経平均	20,363.11	96.06		米国5年債	1.8931	▲1.2bp
TOPIX	1,676.17	11.74		米国10年債	2.3085	▲0.2bp
シカゴ日経先物	20,360.00	▲65.00	為替市況	独10年債	0.4790	1.1bp
ロンドンFT	7,322.82	9.31		英10年債	1.3750	▲0.8bp
DAX	12,704.65	47.24		豪10年債	2.8610	7.3bp
ハンセン指数	27,421.60	▲220.83		USD/CNH	6.6543	0.0145
上海総合	3,339.64	▲5.63		ドルインデックス	93.09	▲0.28
USDJPY 3M Vol	9.91	0.07%	商品市況	CRB指数	182.990	▲0.87
USDJPY 6M Vol	9.93	0.09%		NY金	1,288.70	0.90
EURJPY 3M Vol	9.79	0.13%		WTI	51.56	▲0.58
EURJPY 6M Vol	9.99	0.13%		Dubai Spot	56.74	0.30

東京	東京時間のドル円は112.88レベルでオープン。約2ヶ月半ぶりの高値圏まで上昇してきたことから本邦実需勢の売りも意識される中、東京時間安値112.71まで下落。しかし半期末を翌日に控えていることから公示仲値の発表時間にかけてドル買いフローも散見され、朝方の下落幅を取り戻し、112円台後半まで反発。但し、新規材料を欠く中で上値重く推移。午後に入ると米国の年内利上げ期待も膨らみつつある環境下、米債利回りが上昇。日米金利差が拡大する中、ドル円は113.13まで上値を伸ばす。その後、再び113.00を割れる場面が見られたものの、このレベルでは押し買い意欲が強かったとみられ、高値113.21まで上昇。結局、ドル円は113.07レベルでクローズした。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.07レベルでオープン。ロンドン時間入り際、東京時間の流れを引き継ぎ、高値113.21まで上昇。しかしポジション調整も入ったとみられ、更なる上値追いはならず112.63レベルまで下げてNYに渡った。ユーロドルは、1.1732レベルでオープン。ECB政策委員会メンバーのハンソン・エストニア中央銀行総裁が、ユーロの水準について「依然平均近くにある」と発言したことや、ドイツの主要な経済研究所が、ECBに対し「ユーロ圏の向上き基調が確固たるものになっていることを示す証拠が多くある」と指摘し、緩和的な金融政策からの出口に備えるよう求めたことで、テザリング観測が強まる中、ユーロは底堅く推移。欧州9月景況感指数が113.0と、前月の111.9から上昇し、2007年7月以来の高水準を記録したこともユーロのサポート材料となった。結局、ユーロドルは一時1.1785まで上昇し、1.1774レベルでNYに渡った。(ロンドン17:30 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.63レベルでオープン。朝方発表された米第2四半期GDP(確報)が予想を上回ったことから、ドル買いが強まり112.75まで上昇するも、米金利低下を横目に112.47まで下落。しかし、安く寄り付いた米株がプラスに転じたことから再び112.76まで反発。その後は、減産期待を背景に4月17日以来5ヶ月ぶりとなる52ドル台後半まで上昇したWTI原油が、利益確定の売りに押されて下落する動きや、米金利の低下を受けてドル円は112円台半ばを下抜け、安値112.26まで下落。しかし前日安値112.23が意識され、この水準では下げ渋り112.35レベルでクローズした。尚、ジョージ・カンザスシティ連銀総裁「穏やかな利上げが適切」との発言が伝わったが市場の反応は限定的。一方ユーロドルは1.1774レベルでNYオープン。ロンドン時間の堅調な流れを引き継ぎ1.1804まで上昇。しかし1.18台ではユーロ売り意欲も強く、ユーロ円の下落に連れ安となり1.1773まで下落し、1.1786レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:大熊・坂本

[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
9月28日	08:50	対内・対外証券投資	-	-
	18:00	消費者信頼感 確報	9月 -1.2	-1.2
	21:00	CPI(前月比/前年比)・速報	9月 0.1%/1.8%	0.1%/1.8%
	21:30	GDP(前期比/前年比)・3次速報	2Q 3.1%	3.0%
	21:30	コアPCE(前期比)・3次速報	2Q 0.9%	0.9%
	21:30	新規失業保険申請件数	- 272K	270K
	22:45	ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
	23:00	フィッシャーFRB副議長 講演	-	-
9月29日	03:00	ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

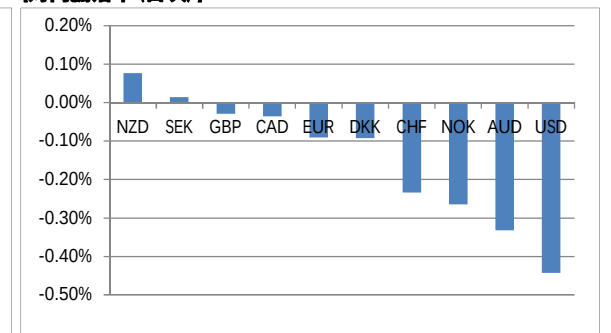
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
9月29日	08:30	CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	8月 0.6%/0.7%/0.2%	0.4%/0.5%/0.1%
	08:50	日銀金融政策決定会合における主な意見	-	-
	17:30	GDP(前期比/前年比)・確報	2Q 0.3%/1.7%	0.3%/1.7%
	18:00	CPI予想/CPIコア(前年比)・一次速報	9月 1.6%/1.2%	1.5%/1.2%
	21:30	コアPCE(前月比/前年比)	8月 0.2%/1.4%	0.1%/1.4%
	22:45	シカゴ購買部協会景気指数	9月 58.7%	58.9
	23:00	ミシガン大学消費者マインド・確報	9月 95.3	95.3
9月30日	00:00	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.70-112.70	1.1730-1.1830	131.50-133.50

[マーケットインプレッション]

昨日の海外市場でのドル/円は、小幅に下落する展開となった。米4-6月期GDP確定値は上方修正されたものの市場の反応は鈍く、フィッシャーFRB副議長の「ドットチャートはあくまでも予測であり、その通りに利上げが実施されるとは限らない」との発言を受けて、米長期金利が軟調な動きとなるドル/円も下値を切り下げる値動きとなった。本日のドル/円は、上値の重い展開を予想する。米年内追加利上げへの期待から底堅くはあるものの、27日に発表された米税制改革を実行する上で、減税の財源を巡る先行き不透明感がドル/円の重石となっているよう。新規の材料を欠く中で、本日は半期末ということもあり、調整的なドル売りが出やすく、上値の重い値動きになるとと思われる。